

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年7月23日（月）～7月29日（日）〔平成24年第30週〕の感染症発生状況

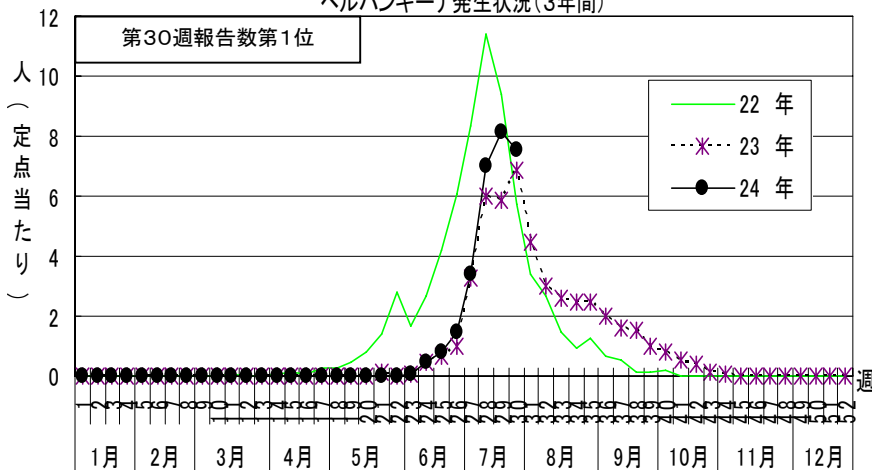
第30週で患者報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。

ヘルパンギーナは定点当たり7.55人と前週（8.12）より患者報告数は減少しましたが、流行発生警報基準値（定点当たり6.0人）を超えているため、引き続き注意が必要です。

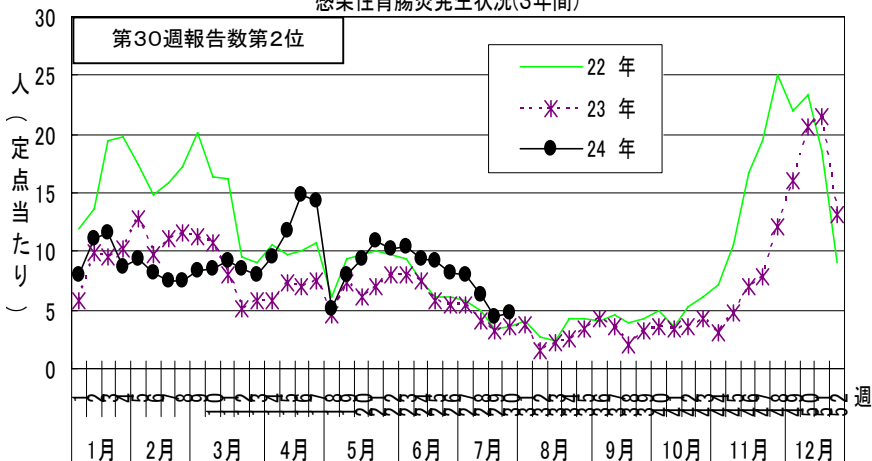
手足口病は定点当たり1.61人と前週（1.39）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

風しんの届出が3件、腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件ありました。特に風しんは、全国的にも患者届出数が非常に多い状況が続いています。

ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



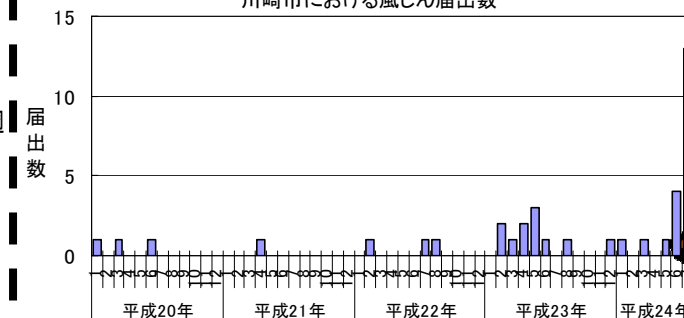
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



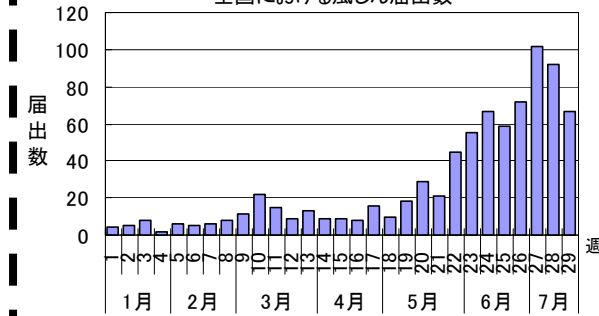
## 風しんの予防接種を積極的に！！～風しんの流行に注意～

今年の6月以降、全国的に風しんの患者届出数が非常に多くなっており、市内においても例年にないペースで患者が発生しています(グラフ参照)。今後も更に流行が広がる恐れがありますので、予防接種を徹底するなどの風しんに対する一層の対策が重要です。

川崎市における風しん届出数



全国における風しん届出数



### 先天性風しん症候群に注意！

妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

これらの障害を先天性風しん症候群といいます。

妊婦への感染を防ぐためには、妊娠可能年齢の方や妊婦の同居家族の方が風しんの予防接種を受けることが最も効果的です。

風しんの予防接種を受けたことがなく、風しんにかかったことがない方は、風しんの予防接種を検討しましょう。